

# リバプール通信

社会福祉法人 大石福祉会  
介護老人福祉施設 **リバプール**  
TEL 077-536-3111  
<http://www.liverpool.or.jp/>

2013・1月号 Vol. 89 明けましておめでとうございます。今年も皆様の笑顔をお届けします！



12/21 今年もリバプールにサンタがやってきました。

## 守山市民生委員児童委員協議会（高齢者福祉部会）の皆さんとの研修会開催

平成24年12月17日（月）に、地域での福祉活動の担い手としてご活躍をされている、守山市民生児童委員協議会の高齢者福祉部会の皆さん27名の方が、研修を兼ねてリバプールに来られました。最初に私どもより、社会福祉法人・特養ホームの役割、そしてリバプールの概要や地域との連携・課題について説明をさせていただき、その後施設見学をして頂きました。引き続き、大石学区社協の顧問・事務局長も参加頂き、意見交換会をさせていただきました。高齢者福祉部会では「災害時、一人も見逃さない運動」に向けて取り組まれておられるところであり、活発な意見交換がなされました。いろいろな質問に対して社協顧問より、大石学区でも抱える課題は同じであるが、福祉活動の推進体制として「地域福祉推進会議」を立ち上げ、地域福祉団体（自治連、民児協、社協）、医療・福祉事業所、行政の三位一体の連携組織として、目的意識をひとつにして一体的な取り組みをしているところであると説明がありました。今回の研修会が、参考になれば幸いです。



12/21 クリスマス会



# Merry Christmas



今年は、福祉ボランティアとして「みんな  
で共に笑い、拍手で元気に」をモットーに、  
県内の福祉施設に赴き、ボランティア活動を  
されている「まん天の村」村主：土田様が、  
リバプールのクリスマス会に来て下さいまし  
た。いきなりのチンドン屋姿での登場に会場  
は、大爆笑！！

奇抜な衣装、肩からチンドン太鼓と鳴りも  
の、口元にはハーモニカそして口上と、一人  
で何役もこなす姿は、天晴れでした。地域交  
流スペース前をねり歩く姿に、笑い興味津  
津な眼差し。懐かしく、見ていただいたので  
しょうか。

皿回しでは、入居者様や職員も一緒になっ  
て挑戦し、助けてもらいながらですが、上手に  
回すことが出来ました。たくさんの演目やユー  
モアたっぷりの体操などで大いに盛り上がり、  
和気あいあいとしたクリスマス会をすること  
が出来ました。レクレーション委員会から『きよ  
しこの夜』、そして『お正月』の歌を披露しまし  
た。『お正月』は、皆さんで合唱しました。

「もういくつ寝るとお正月・・・♪」



クリスマスプレゼントは入居者様の各  
担当職員がその方に合ったプレゼントを  
考え、ご用意させて頂いています。プレ  
ゼントをお渡しに行くと入居者様は職員  
のサンタ姿を見て、『よく似合っている  
ね。』と笑顔になられ、その笑顔を見て、  
職員もまた笑顔になる、とても心温まる  
1日でした。

来年もサンタクロースが来ますように！

12/24 臨床美術



12/25 ほしのまち  
中華バイキング



今回のテーマは『洋梨』でした。参加された入居者様の中にフランスに行かれたことがある方がおられ、『今は日本の洋梨の方が美味しいよ。』と洋梨の話から旅のお話まで聞かせて下さいました。皆様洋梨ならではのくびれた形と微かな凹凸をじっくりと観察し、描いておられました。

ほしのまち（4階）では、12月25日に中華バイキングのイベントを実施しました。フロア全体に広がった中華スープの香り、焼き立てのぎょうざの香ばしい香りは、一層、食欲を引き立ったのか、いつもよりもたくさんの量を食べていただきました。来月はおでんを予定しています。

## 今月のデイサービス!



デイサービスにもサンタクロースがやってきました。

12月27・28日にはデイサービスでは毎年恒例になっています、職員お手製のお鍋を囲んでの昼食会を開きました。利用者様にも毎回大好評で、皆さんおかわりをされるほどです。体も心もほっこりして頂きました。今から次回が楽しみです。

営業日：月曜日、火曜日、水曜日、木曜日、金曜日、日曜日（土曜日が定休）

サービス提供時間：9時45分～16時00分

営業時間：8時30分～17時30分

利用定員：12名

※1日お試し利用を実施しています。（食事代500円要）

詳しくはデイサービス・リバプール(担当：藤吉)まで

電話 077-536-3111

## 認知症家族介護のための交流・学びの支援プログラム（第3回目）

12月11日（火）、第3回目の支援プログラムがリバプール地域交流スペースにて開催されました。今回は「介護保険や効果的なサービス利用について学ぶ」というテーマで開催されました。介護保険の概要については保険者である大津市介護保険課より説明がありました。また、「効果的なサービス利用について」は、日頃より高齢者の相談窓口として活躍されている南あんしん長寿相談所の主任ケアマネより説明がありました。

介護保険制度が始まって12年が経ちますが、当事者や家族にとっては、要介護状態になって初めてサービスを知ることになります。今回、参加頂いた皆さんも、具体的な所がわからなかったが、理解出来たなどのご意見を頂きました。常に啓蒙的な活動が必要であることを強く感じました。



## 越大津市長との懇談会開催されました!! 平成24年12月14日

特別養護老人ホーム真盛園にて（滋賀県老人福祉施設協議会大津ブロック会員）



この度、昨年1月に第23代大津市長に就任された越直美市長と滋賀県老人福祉施設協議会 大津ブロック会員との意見交換会が、特別養護老人ホーム真盛園（前阪園長）の講堂にて開催されました。大津市からは、市長はじめ沖野福祉保健部長、坂川健康長寿課長、宮田介護保険課長、そして市内13施設の施設長が参加し開催されました。まず開催にあたり越市長より「懇談会の意見を聞き、今後の市政に生かしたい」との挨拶をいただきました。続いて前阪会長（滋賀県老施協）より、老人福祉施設の現状と課題について説明があり、その後、意見交換会では、介護を支える若い人材の確保、介護福祉事業のイメージアップキャンペーンの取組み、施設運営や改修、建替えの支援など、活発な意見交換がされまして。最後に、沖野部長より、「難しい課題もあるが、ご意見の中で、取り組めることは今後の福祉行政の参考にしたい。」と挨拶をいただきました。

## J A大津女性部 「愛の米ひとにぎり運動」

平成24年12月16日



J A大津女性部の皆様より、この秋に収穫された、新米をいただきました。

この「新米ひとにぎり運動」の活動は、毎年市内の特別養護老人ホームに、秋の収穫に感謝し、新米の美味しさを入居されている方々に味わって頂くために取組まれています。早速、新米のご飯を入居されている皆さんで頂きました。

## 第3回目合同研修（複数事業所連携）

平成24年12月7日



今回で3回目の開催、定員もいっぱいの状態での開催となりました。少しでも、今よりも、利用者の立場で、安全な介助を……。そういう想いの職員さんばかりで、終日熱いものを感じました。次回は最終回で、参加者の調整を各事業所さんをお願いしているところです。嬉しい悲鳴!